

2025年9月30日
イオン株式会社

「ボトル to ボトル」の取り組み加速に向けて、 トムラ・ジャパン株式会社と資源循環に係る連携協定を締結 資源の回収環境を整え、プライベートブランドの容器などに循環利用

イオンは、限りある資源を有効利用する資源循環の促進をマテリアリティとして位置付け、グループ各店舗におけるペットボトルなど使用済容器包装の回収・運搬から再資源化・製品化まで一貫して行う水平リサイクルの取り組み加速に向けて、この度、トムラ・ジャパン株式会社と資源循環事業に関する連携協定を締結しました。

イオンの「ボトル to ボトル」の取り組みは2021年から開始をしており、トップバリュ飲料等のペットボトル容器として循環利用を進めてきましたが、安定的な資源量と品質の確保が課題となっておりました。今回、トムラ・ジャパン株式会社と連携し、WAON付与型のペットボトル・アルミ缶自動回収機の導入を通じて、多くのお客さまに環境活動への参加を呼びかけ、資源回収量の拡大を図ると同時に、質の高い回収資源をトップバリュ商品等へ効率的に循環利用していきます。

本年10月より、まずはイオンモールやGMS、SMなどの大型店舗を対象に、年間200台のペースで回収機を設置し、2030年までにグループ全体で新たに1,000台を導入する計画です。更に、資源ごみの収集頻度の少ない地域や、集合住宅と隣接する都市部のSM店舗などを対象に、回収機の導入を拡大していく予定です。併せて、店頭における資源回収「つなぐステーション」の展開を通じて、全国のイオン店舗が各地域における資源循環のハブとなるよう、お客さまの生活導線上に約5,000カ所以上の回収拠点を整備していきます。

イオンは、これからもお客さまとともに、持続可能な循環型社会の実現を目指して、より良い暮らしを未来へつないでまいります。



WAON付与型 自動回収機 (イメージ)



(参考) つなぐステーション

以上